

# 大使館便り

第186号 平成30年9月3日  
在ポルトガル日本国大使館

## 1. 新美大使からのご挨拶

日本はこの夏猛暑に見舞われていると聞きますが、ポルトガルもすごい熱波に襲われましたね。私にとっても8月4日、ファティマで経験した46度という気温は、これまでの人生で遭遇した最高の暑さでした。

さて去る8月20日、私はフィゲラ・ダ・フォス市において岐阜県関市のアマチュア声楽家のグループ「関音楽劇の会」が上演された「海波の音」という音楽劇を鑑賞して参りました。これは、1543年、ポルトガル人により種子島に鉄砲が伝来した際、島の藩主から鉄砲の複製を命じられた刀匠の八板金兵衛清定が製法の核心部分が分からず苦悩したところ、その姿を見た清定の娘若狭がポルトガル人に嫁ぎ、引き換えに製法の伝授を受けた清定が鉄砲制作に成功した、という伝承を基にした創作音楽劇です。

種子島への鉄砲伝来は我々日本人なら誰もが学校で学ぶことですが、若狭の悲劇もそう言えば昔耳にしたことがあるような。今回の音楽劇が若狭の悲劇を題材としていると事前にうかがい、ポルトガル人がいわば憎まれ役のお芝居をここで上演して大丈夫かな、などとちょっと心配したら、この劇では若狭はポルトガル人に嫁ぐのではなく、鉄砲の製法伝授の許可をポルトガル本国に要請に赴く、との筋となっております。因みに余談ながら、ネットで色々調べていて、1968年に公開された大映映画で「鉄砲伝来記」という作品があることを知りましたが、この作品では若尾文子演ずる若狭はポルトガル人の船長と恋に落ちる筋となっております。



清定は関市の出身だったそうで、この縁で関音楽劇の会が本作を製作し、今回ポルトガルでの上演に至ったとのこと。私はこの公演のために来訪された関市の尾関市長、公演の実現に協力頂いたフィゲラ・ダ・フォス市のアタイデ市長お二人と共に

劇を鑑賞させて頂きましたが、最後は観客の皆さん全員立ち上がってのスタンディング・オベーションで、公演は大盛況の内に幕を閉じました。

この上演に当たり事業補助金が関市等から出ているものの、劇団の皆さん各々も多額の費用を自己負担して来訪されたとのこと。日本とポルトガルの間の文化、カルチャーの交流において、国際交流基金の助成等公的ベースでの公演・展示、日本製アニメ、ゲーム、コミックの商業ベースでの若者への浸透などとはまた違う、市民レベルでの素晴らしい文化交流を今回実現して頂きました。

関音楽劇の会の皆さん、ありがとうございます。本当にお疲れ様でした！

## 2. 政治・経済関係

### (1) 大規模山林火災の発生、政府が対応に尽力

8月2日～6日、アフリカからの熱波の影響で、40度を超える記録的な高温、乾燥に見舞われたポルトガルでは、南部ファーロ県モンシック市を中心に大規模山林火災が発生しました。7日からは、気温は下がったものの、強風の影響で火災が再び広がり、消火活動は9日まで1週間かかり、約2万7千ヘクタールの土地が焼け、50棟の住宅家屋が焼失、41名の負傷者（このうち22名が消防員）、及び約500名の避難者が出ました。また、消防士1337人、ヘリ13機、消防車396台が消火防活動に当たりました。

### (2) ポルトガル、2017年宿泊者数は約2410万人

8月3日、国立統計院（INE）は、国内外の観光客を合わせた2017年の宿泊者数（10ベッド以上の民泊施設を含む）が過去最高の2410万人となり、前年比12.9%増加したと発表しました。宿泊日数は6580万泊と前年比10.8%増加しました。うちポルトガル人は1880万泊（全体の28.5%；前年比7.3%増）、外国人は4710万泊（同71.5%；前年比12.2%増）でした。国籍別では英（外国人の宿泊者数の20.9%；前年比2.8%増）、独（同13.8%；前年比11.3%増）、仏（同9.9%；前年比5.2%増）、スペイン（9.9%；前年比7.0%増）が上位を占めているものの、ロシア（前年比46.8%増）、ポーランド（前年比43.5%増）、中国（前年比43.3%増）、ブラジル（前年比42.3%増）、米（前年比40.1%増）からの観光客も増えています。宿泊施設全体の売上げは約15億2千万ユーロと、前年比19.5%増加しました。

### (3) ヴィエイラ・ダ・シルヴァ労働・連帯・社会保障相がサントメ・プリンシペ訪問

8月3～4日、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ労働・連帯・社会保障相は、サントメ・プリンシペを訪問し、リマ・サントメ・プリンシペ雇用・社会問題相と両国間の社会及び雇用分野に関する協力に合意したほか、ポルトガル政府の支援を受けている老人ホーム、児童養護施設、託児所、及び障害者向けの施設等を訪問しました。両省間の協力は1998年にはじまり、貧困との闘い、行政機関のキャパシティビルディング、及び雇用と職業訓練の分野に焦点を当てています。

### (4) サンタナ・ロペス元首相が社会民主党（PSD）から離脱

8月4日、サンタナ・ロペス元首相は社会民主党（PSD）メンバー宛の書簡を通じ、40年

間所属したPSDから正式に離脱したと発表しました。これに対し、レベロ・デ・ソウザ大統領は、「自分にとって党は家族であり、家族は変えないものである」との考えを述べ、また、PSD内での党の指導権をめぐる争いに関し、「自分が心配していることは、野党が分断されすぎて、権力を取って代わるような存在でなくなることである」と懸念を示しました。

サンタナ・ロペス元首相の新党名は「アリアンサ（同盟）」で、8月20日からウェブサイト上で党の公式な設立のために必要な署名活動をはじめました。

#### （5）アゼレード・ロペス国防大臣がカーボヴェルデ訪問

8月6～7日、アゼレード・ロペス国防大臣は、カーボヴェルデを訪問しました。6日、同大臣は、タヴァレス・カーボヴェルデ国防大臣、及びシュナイダー・ルクセンブルク国防大臣との間で、カーボヴェルデの安全保障と防衛能力の強化を目的とする三カ国間協力の共同声明に署名しました。アゼレード・ロペス国防大臣は、この三カ国間協力について、特にギニア湾の安全に関するカーボヴェルデの地政学的及び戦略的重要性を強調しました。

#### （6）サントス・シルヴァ外相がコロンビアとパナマ訪問

8月6日～8日、サントス・シルヴァ外相はコロンビアを訪問しました。6日、同外相は、トゥルヒージョ・コロンビア外相と会談しました。7日は、コロンビアにおけるポルトガル人企業家及びコミュニティ代表者と会合したほか、ドゥケ・コロンビア大統領の就任式典に出席しました。8日、アンデス大学で講義を行った後、パナマへ出発し、同日、バレーラ・パナマ大統領を表敬、またアルバラード副大統領兼外務大臣と会談し、9日に在パナマ・ポルトガル大使館の開館記念式典に出席しました。

#### （7）第2四半期失業率、6.7%に低下

8月8日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2018年第2四半期の失業率が、2011年第1四半期以来の低水準となる6.7%（前期比1.2ポイント減；前年同期比2.1ポイント減）と発表しました。INEの統計によれば、失業者数は35万1,800人（前期比14.2%減；前年同期比23.7%減）で、このうち、若年層失業率（15～24歳）は19.4%（前期比2.5ポイント減；前年同期比3.3ポイント減）の6万9,200人です。男女別失業率では、男性が6.4%、女性が7.1%でした。また、地域別失業率では、マデイラ自治州（8.3%）、アソーレス自治州（8.2%）、北部地方とリスボン首都圏（7.2%）、及びアレンテージョ地方（6.9%）がポルトガル全土の平均を上回り、アルガルヴェ地方、及び中部地方（5.3%）が平均を下回りました。

#### （8）第2四半期GDP成長率、前年同期比2.3%増

8月14日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2018年第2四半期のGDP成長率を前年同期比2.3%増、前期比0.5%増と発表しました。前年同期比では、投資が、2017年第2四半期に記録したプラスのベース効果を受け、輸送設備における総固定資本形成の減少によるマイナスの成長を示した一方で、個人消費の増加により、内需は強いプラスの寄与を記録しま

した。外需の寄与は、前期と同じくマイナスとなりました。前期比では、モノとサービスの輸出の伸びが、輸入の伸びを上回ったことにより、外需の寄与は僅かにプラスとなりました。内需の寄与も引き続きプラスとなりました。

### 3. 広報・文化関係

(イベント)

#### ● 「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」及び「被爆体験講話」等の実施について

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の主催により、今年、長崎市との姉妹都市提携40周年を迎えるポルト市において、核兵器廃絶に向け、第二次大戦時原爆投下の実像を伝える「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」が開催されます。また、関連イベントとして、ポルト市及びリスボン市各会場において「被爆体験講話」（被爆者の方による講演）、「被爆体験記朗読」及び「家族・交流証言講話」（被爆者の近親者の方による講演）が下記日程にて開催されます。

#### 1. 2018年度ヒロシマ・ナガサキ原爆展

日時：2018年10月1日（月）～11月30日（金）

会場：ポルト市庁舎

住所：Praça General Humberto Delgado, 4049-001 Porto

#### 2. その他関連イベント

##### a) 10月2日（火）

- ・ イベント：「家族・交流証言講話」、「被爆体験記朗読」
- ・ 時間：11:00～
- ・ 会場：ポルト市庁舎
- ・ 住所：Praça General Humberto Delgado, 4049-001 Porto
- ・ 定員：30名
- ・ 言語：英語
- ・ 入場無料

##### b) 10月3日（水）

- ・ イベント：「家族・交流証言講話」、「被爆体験記朗読」
- ・ 時間：16:30～17:45
- ・ 会場：Santa Casa de Misericórdia de Lisboa 内図書館
- ・ 住所：Largo Trindade Coelho 1200-470 Lisboa
- ・ 定員：60名
- ・ 言語：英語
- ・ 入場無料
- ・ お問い合わせ：secretaria-geral@scml.pt / 213 235 000

c) 10月15日(月)

- ・イベント:「被爆体験講話」
- ・時間:18:00~19:30
- ・会場:Sala de Exposições, Edifício da Biblioteca João Paulo II, 2º piso,  
Universidade Católica Portuguesa
- ・住所:Palma de Cima 1649-023 Lisboa
- ・定員:80名
- ・言語:日本語、ポルトガル語の通訳あり
- ・入場無料

d) 10月16日(火)

- ・イベント:「被爆体験講話」
- ・時間:17:00~18:45
- ・会場:Sociedade de Geografia de Lisboa, Auditório Adriano Moreira
- ・住所:Rua das Portas de Santo Antão 100 1150-269 Lisboa
- ・定員:100名
- ・言語:日本語、ポルトガル語の通訳あり
- ・入場無料
- ・お問い合わせ:geral@socgeografialisboa.pt / 213 425 401

●現代美術作品展「物語 | estórias - 長崎とポルト」の開催

ポルト版画協会 **Matriz** 及びポルト市主催により、現代美術作品展「物語 | estórias - 長崎とポルト」が、長崎・ポルト姉妹都市提携40周年記念イベントの一環として以下の通り開催されます。同展では、両市の子供達による児童画交流展も併せ開催される予定です。詳細は、下記までお問合せ下さい。

日時:2018年10月1日(月)~31日(水)

会場:ポルト市バルセマオン子爵宮殿 (Palacete dos Viscondes de Balsemão)

住所:Praça de Carlos Alberto 71, 4050-157 Porto

お問い合わせ:matriz.gravura@gmail.com, 22 208 20 51

URL:<http://matrizassociaodegravuradoporto.blogspot.com/>

●リスボンホラー映画祭 (MOTELX)

リスボンホラー映画祭 (MOTELX) において、下記の通り日本映画が上映されます (国際交流基金助成)。詳細は、下記までお問合せ下さい。

1. 「ミスミソウ」(内藤瑛亮監督：2018)

日時：9月4日(火) 21:40～

会場：サンジョルジェ劇場 Sala 3

住所：Avenida da Liberdade, n.º.175 1250-141 Lisboa (以下同)

お問い合わせ：info@cinemasajorge.pt / 21 310 34 00 (以下同)

URL：http://www.cinemasajorge.pt/ (以下同)

2. 「カメラを止めるな!」(上田慎一郎監督：2017)

日時：9月6日(木) 16:50～

会場：サンジョルジェ劇場 Sala 3

3. 「いぬやしき」(佐藤信介監督：2018)

日時：9月7日(金) 14:00～

会場：サンジョルジェ劇場 Sala Manoel de Oliveira

4. 「Violence Voyager」(宇治茶監督：2017)

日時：9月8日(土) 14:55～

会場：サンジョルジェ劇場 Sala 3

5. 「Exorcism of Mary Lamb (Shinmashi)」(今野恭成監督：2018)

日時：9月9日(日) 18:50～

会場：サンジョルジェ劇場 Sala Manoel de Oliveira

- 第13回国際交流基金マドリード日本文化センター主催ポルトガル日本語教育巡回セミナー  
国際交流基金マドリード文化センター主催、ポルトガル日本語教師連絡会議企画による日本語教育セミナーが下記のとおり開催されます。日本語教育に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

日時：9月9日(日) 14:45～18:45

会場：ポルト大学文学部(Sala de Reuniões I, Faculdade de Letras da Universidade do Porto)

住所：Via Panorâmica, s/n, 4150-564 Porto, Portugal

参加費：資料代とお茶代として3ユーロ程度

お問い合わせ：rumisakamoto2002@gmail.com

(お知らせ)

- 広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールに

よる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、[cultural@lb.mofa.go.jp](mailto:cultural@lb.mofa.go.jp) までご連絡下さい。

#### 4. 領事関係

##### (1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

##### (2) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には是非、「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

##### (3) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：[consular@lb.mofa.go.jp](mailto:consular@lb.mofa.go.jp)

(了)